

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2 年 4 月 2 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ 団体名 ダイサンフジタシ・ウガンコウカシニ・ウチアイキョウギカイ
第三藤田小学校区自主防災協議会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
代表者役職・氏名 フリガナ [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ⑦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	第三藤田小学校区自主防災協議会
事業実施区域 (小学校区)	第三藤田小学校区
① 事業実施内容	<防災訓練> 9月28日、第三藤田小学校を会場に岡山市南消防署及び妹尾出張所の協力を得て、救助訓練の見学、プールに移動し救命ボートを使った救助訓練及びAEDによる救命講習体験、初期消火体験など約100名が参加し見学・訓練をした。 <一泊避難所体験訓練> 11月3日、第三藤田小学校体育館で36名の参加(19名が宿泊訓練に参加)で炊き出し訓練も含め実施。翌日朝、意見交換会を行い「一度はぜひ体験してほしい」など様々な声があった。 <北炭震災記念公園・視察研修> 2月16日、各種団体関係者38名位の参加で実施。参加者全員にコロナウイルスに備えてマスクを用意し、消毒をお願いした。語り部さんの体験談、野島断層や展示などの見学等多くのことを学んだ。
② 解決を目指した課題	防災訓練、一泊避難所体験訓練など継続して訓練を実施することで地域住民の災害に対する意識を高め「災害に負けない地域づくり」に貢献する。 最大の課題は参加者を増やすことで、広報活動や呼びかけの充実が今後の課題となっている。各種団体の会合、防災新聞の発行など継続して取り組みたい。

③ 目的・目標の達成状況	◇各種団体代表者を中心に防災リーダーの育成を図ってきたが積極的な意欲や行動には至っていない。 ◇災害に対する危機意識が低く、「たぶん大丈夫、どうにかなるだろう」と漠然と考えている人が多く、意識変換を図る工夫が求められている。 ◇防災協議会の組織については十分に達成できているものと認識している。 ◇防災訓練（約100人参加）、避難所体験訓練（36人参加、宿泊参加19人）ともに参加者が少なく呼びかけや案内など一層の工夫が求められている。 ◇震災記念館・淡路研修視察は参加者、内容ともに評価できる。
④ 企画等の工夫と情報公開	◇防災訓練 各戸配布の案内状のほか小学校や保育園保護者当ての案内状を配布した。 ◇避難所生活体験訓練 案内状など上記の防災訓練同様に実施し、防災訓練の内容にプールを使用した救命ボート（コンケングループ提供）訓練を加えるなど工夫した。 ◇震災記念館・淡路研修視察（リーダー研修会） 臨時の全員参加の連絡会を実施し計画の内容等相互理解を深めた。 ◇防災新聞の発行 新聞係を作り担当者を中心にグループで協力し発行することができた。

④ 次年度計画	・防災訓練 or 講演会の実施 ・避難所体験訓練の実施 ・防災新聞の発行 ・震災記念館視察リーダー研修会は各種団体関係者を対象に実施してきたが、ほとんどのリーダー候補の参加があったため活動を完結した。	
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	学区の地理的条件を考えると台風発生及び強大化等、気象異常が予想され、水害被害の恐れは深刻化している。災害に対する対応・対策が緊急の課題であるにもかかわらず危機意識が低く「自分のことは自分で守る」という意識や準備が浸透しない。防災意識や危機意識を高めるため今後も継続して防災活動を計画・実施していくことが求められている。 ○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 実施 ・他地域の防災訓練や見学をぜひ実施してはどうか ・リーダー研修会の予算が多すぎるのではないか 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 （理由：地理的条件の異なる地域の活動は参考にならない。リーダー研修会は継続して取り組む必要はなく完結するもので負担にはならない ）	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた ② おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
2019年	
4月25日	第三藤田小学校区自主防災協議会総会
8月21日	岡山市南消防署と防災訓練の打ち合わせ
8月29日	〃
9月10日	岡山市南消防署妹尾出張所と防災訓練の打ち合わせ
9月28日	防災訓練
10月 5日	連絡会(防災訓練の反省及び避難所生活体験訓練について)
10月23日	連絡会(避難所生活体験訓練の内容検討会)
11月3日～4日	避難所生活体験訓練
2020年	
1月25日	連絡会(リーダー研修会について)
2月16日	震災記念館・淡路研修視察
3月30日	防災新聞の発行、各戸配布

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	265,000	231,100	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	165,000	131,255	
参加者負担金	0	0	
協賛金	0	0	
寄付、他収入	100,000	100,000	都六区・鎗六区連合町内会
計	530,000	462,355	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	備 考
①消耗品費	50,000	43,219	コピー用紙、研修時マスク代等
②食糧費	15,000	9,644	研修時飲料代
③印刷製本費	85,000	64,175	防災新聞印刷代
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	10,000	7,250	役員会開催案内発送、総会資料等
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	20,000	8,297	炊き出し用お米、レトルトカレー
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	0	0	
⑭保険料	50,000	0	
⑮旅費	300,000	329,770	北淡震災記念館視察バス代
⑯その他	0	0	
計	530,000	462,355	